

令和2年度 保育所の自己評価

社会福祉法人水の会

北六浦いちい保育園

園長 佐藤 良恵

評価項目と視点		保育士の評価
1	保育所の役割 ・保育所の社会責任 ・人権尊重、説明責任 等	91%
2	保育計画及び評価 ・保育の目指す姿 ・保育の展開、反省評価改善 等	88%
3	保育の内容 ・保育全体 ・主体性や社会性、感性の育み ・国籍、性別や個人差に配慮 等	91%
4	健康支援 ・個々の発達状況の把握、計画 ・感染症、アレルギー対応 等	88%
5	食育 ・食への楽しみ、意欲、相応しい食生活への援助、食育計画 等	83%
6	環境及び衛生安全管理 ・安全衛生対策、事故防止、点検、ヒヤリハットの活用 等	83%
7	子育て支援 ・地域関係機関との連携 ・虐待防止 等	88%
8	職員の資質の向上 ・保育士としての役割、姿勢 ・研修、園内研究 等	90%

総評

今年度から自己評価表が変わったため単純比較はできないものの、昨年度に引き続き「保育の内容」「環境及び衛生安全管理」について保育士の自己評価が低かった。確かに保育の内容と環境についてはまだまだ細部まで共通理解や手順の周知などが徹底されておらず、課題の残るところである。また衛生安全管理についてもコロナ感染症対策から1年間通して体制を整えてきたところであり、今後もそれが新しいスタンダードになることからその整備と、よりよい対策に向けて臨機応変に対応していかなければならない。来年度も引き続きマニュアルの精査および周知と暗黙のルールの明文化に取り組んでいく必要があると考えている。

今年度は職員の雇用が安定していたことから多くの職員が研修に参加することができた。また職員同士での細やかな打合せの場を新たに持つこともできて、職員同士切磋琢磨しながらより良い保育について考える時間を確保できた。雇用の安定と人材育成、そしてより良い保育は常に連動していると考えため、今後も「働きやすさ」と「働きがい」を感じながら職員が生き生きと長く働ける職場となるよう取り組んでいきたい。

*総評には保育士の評価の他、運営管理、社会的責任(個人情報保護、説明責任、苦情処理、人材育成、職員研修等)など施設長の責務を含み記載